



ひろげようHMネット —参加医療機関の声— INTERVIEW

坪井クリニック 坪井 和彦 先生

二重読影で支える胃内視鏡診療 ～ファイル開示相談システムによる確かな連携～

●地域医療を支える、安心・安全な内視鏡診療

当院は昭和51年4月に開業し、地域の患者さまが満足される安心・安全な医療を提供できるよう、スタッフ一同が最善のサービスを心がけて日々診療しております。主に消化器および呼吸器疾患を中心に一般内科診療を行い、かかりつけ医として基幹病院や看護・介護施設とも連携しながら地域医療に貢献したいと考えています。

胃内視鏡検査では、学会ガイドラインに沿った丁寧な説明を行い、十分な理解と同意を得た上で実施しています。偶発症に留意しつつ、胃粘液や泡を十分に洗浄し、体位変換を適宜行いながら、毎回同じ順序で食道・胃・十二指腸を系統的に観察し、死角をなくすよう努めています。



●行政検診を支える「二重の確認」

HMネットへの参加は、大竹市胃がん検診を受託する医療機関にとって二重読影が必須であったことがきっかけです。

大竹市胃がん検診の受託医療機関は、広島西医療センターと開業医3医療機関のみで、開業医からの画像を二重読影目的で広島西医療センターへ送信し、結果が返信される仕組みとなっています。

●画像送信の実際

内視鏡画像は、FUJIFILM内視鏡システムからCARNACOREへ送り、画像カートからBMP形式でUSBに保存し、そのUSBを用いてパソコンへ移動後、HMネットに接続し「ファイル開示相談システム」を通じて広島西医療センターへ送信しています。

第三者へ画像を送ることになるため、十分に診断できる写真となるよう意識しています。

●「さらに確立される」安心感

毎回の胃内視鏡検査を丁寧に行うことに変わりはありませんが、二重読影によって診断がさらに確立されることは大きな安心感につながっています。

二重読影後の診断に対しても、こちらから再度フィードバックを行うことで、その後の検査や診療へ活用できると考えています。

●現場での運用と今後への期待

はじめは操作がおぼつかない部分もありましたが、すぐに慣れるので利便性は低くないと思います。

HMネットはAI胸部X線画像診断支援システムの機能追加により運用面の幅は広がったと感じていますが、別パソコンへの接続移動が解消されれば、さらに利用医療機関が増えるのではないのでしょうか。

費用面については、胃がん検診委託費用との兼ね合いを考えると、少しでも安価であればありがたいと考えています。

●より円滑な連携へ

今後、大竹市で個別の肺がん検診が導入された場合には、AI胸部X線画像診断支援システムが活用できればよいと考えています。

現在は行政の胃がん検診の二重読影のみでの利用ですが、すでにHMネットへ加入している医療機関同士が、より円滑に活用できる仕組みが確立され、地域医療連携がさらに深化することを期待しています。

坪井クリニック

〒739-0613 広島県大竹市本町1丁目1-18
TEL: 0827-52-8337/FAX: 0827-53-1510



HMネット新規参加時の6ヵ月間利用無料制度の終了について

HMネットでは、医療機関の新規参加促進を目的として、令和2年度から「参加後6ヵ月間利用無料制度」を実施してまいりました。

この制度は、導入時の負担軽減策として、これまで多くの医療機関にHMネットへの参加を検討いただくきっかけとなり、参加促進に一定の役割を果たしてきました。

一方、令和8年度診療報酬改定において「電子的診療情報連携体制整備加算」が新設され、地域医療情報連携ネットワークへの参加が診療報酬上評価されることとなりました。これにより、HMネットへの参加そのものが医療機関にとって大きなメリットとなり、無料制度による参加促進の必要性は以前と比べて低下しています。

このため、HMネットでは運営基盤のさらなる安定化を図る観点から、新規参加医療機関を対象とした無料期間制度を段階的に終了することといたします。

無料期間の見直しスケジュール

令和8年度中は経過措置として段階的に無料期間を短縮し、令和9年4月以降に参加される医療機関については、参加初月から利用料が発生します。

参加時期	無料期間
令和8年10月まで	6ヵ月無料
令和8年11月参加	5ヵ月無料
令和8年12月参加	4ヵ月無料
令和9年1月参加	3ヵ月無料
令和9年2月参加	2ヵ月無料
令和9年3月参加	1ヵ月無料
令和9年4月以降	無料期間なし

HMネットは、地域医療を支える重要な医療情報連携基盤として、県内の多くの医療機関にご活用いただいています。診療報酬上の評価に加え、診療情報共有やAI胸部X線画像診断支援システムなど、日々の診療に役立つ機能も充実しています。今後も機能向上と利便性向上に取り組み、より多くの医療機関にご活用いただけるネットワークを目指してまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。